

GOVERNOR'S

Monthly Letter VOL.12

Rotary International
District 2800
2011-2012



こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

2012
June

ガバナー
月信

6



国際ロータリー第2800地区【2011-2012年度】

ガバナー 細谷 伸夫 RI会長 カルヤン・バネルジー RI会長エレクト 田中 作次 RI理事 近藤 雅臣

『社会貢献的職業奉仕』



2011-2012年度
国際ロータリー
第2800地区

ガバナー

細谷 伸夫
(山形西RC)

1. ロータリーは社会的存在である。社会と共に生き、社会と切り離しては考えることが出来ない。ポール・ハリスはシカゴの町が猜疑心に満ち溢れていたことから親睦の重要性を問い、悪徳商法が横行していたから職業奉仕を訴えた。

このようにロータリーは社会と共に歩んで来た。では、これからのロータリーはどう歩むべきなのか。それは現代社会の状況を把握することから始めなければならない。

2. 今、20代、30代で成功した若きベンチャー起業家は異口同音にこう言う。「金儲けより、会社を利用してもらっている方が嬉しい」「職業人としていかに社会に役立つかを目指していかなければならない」「社会貢献と儲けがバランス良く成長するのがよい」と。そして既に日本の若者達や一部企業サラリーマンの間では「人に役立つことをしたい」との意識が定着しつつある。かつての企業戦士の考えはなく、自分が生きるためには社会が良くならなければならない、社会に貢献することが人生の生き甲斐であると考えようになった。東日本大震災を経て、日本ではこれが更に強くなったのである。

このように現代社会は、商いをするについても社会的貢献を抜いては考えられない時代となったのである。

3. ロータリーは職業奉仕、職業倫理を求めて活動してきた。これは自由主義、極論には自由放任主義の下にあっては必然的な活動である。ロータリーのある国々では、自由主義経済が基本であり、特に新しく経済繁栄した国々では色の濃い自由主義経済活動が行われている。また、グローバル化した世界経済では国内で

目の行き届かない地域で自由放任的経済活動がなされていることも事実である。従って職業倫理を中心とする職業奉仕の理念は最大限尊重されるべきものであり、決して忘れてはならないものである。ただ、日本など先進国家は自由主義経済を基礎にしながらも福祉国家を目指している。自由主義における倫理はどちらかという制約的、消極的であるのに対し、福祉国家における倫理はどちらかという行動的であり積極的な方向性をもっていると考える。

この福祉国家における職業倫理は全ての人々が平等で、共に働き、共に助け合い、助けを求めている者があれば積極的に奉仕することを求める。この社会のために役立つこと、社会を良くすることを積極的に行うことを、人の道、商の道としたのである。共営共存の考え方である。これを社会貢献的職業奉仕と呼ぶことが出来る。例えば弁護士も、経済的に苦しい人々のために弁護をする法律扶助制度や、日常的な法律相談窓口の開設、どこに法的救済を求めるかが分からない人のための法テラス(日本司法支援センター)の制度など、社会貢献的な職業奉仕にあたると思われる。

4. アメリカは自由主義経済体制の中で、不平等、経済的格差等々社会の矛盾が顕著に発生し、やがて福祉国家的思想が拡大していった。新興国と言われる国にしても、最近、不平等、経済格差などにより社会の矛盾が出始め、このままではいずれ日本、アメリカ同様、福祉国家に向かわざるを得なくなると思われる。ヨーロッパは既に福祉国家は根付いている。

従ってこれからのロータリーは、「社会貢献」をキーワードとした職業奉仕活動をしななければならないと考える。

すなわちそれは、一人一人の人間の集団である社会に対する「思いやり」である。社会貢献的職業奉仕は、社会に思いやりの心を持って積極的に接し行動し、これまでのマンネリ化した、事なかれ主義的仲良しクラブの社会を変えていくことが、これからのロータリーが目指すべき方向ではないだろうか。

国際大会報告

ガバナー 細谷 伸夫

第103回国際大会(国際ロータリー年次大会)は2012年5月6日より9日まで、タイ、バンコクで開催されました。参加者は史上最大の3万人ということでありました。会場は、バンコク市内より車で30分ないし40分程離れたインパクト・コンベンション・センターで行われました。本会議場は、サッカー場一面程の1万5000名は優に入りそうな巨大なホールで、世界各国、地域からの参加者で国際色豊かな雰囲気でした。

開会本会議は午前と午後の二回に分かれており、午前の開会本会議にはタイ王国の王女様による特別挨拶がありました。

大会は歓迎の挨拶に続き、四つの地域からのタイ伝統舞踏の公演、そして国旗入場、タイ、インドの国歌演奏に続き、カルヤン・バネルジー会長とご家族の紹介、最後にR I会長の歓迎の挨拶がありました。

本会議は閉会本会議まで入れて5回ありますが、分科会を除き主には国際間の親睦とお祭りの要素が強いものでした。

本会議場の隣には友愛の家があり、入口を入るとタイの名物なのか、多種多様多色彩のランで飾られた、とても美しいスペースが待っていました。友愛の家には世界各国のクラブ、地区などからそれぞれのテーマを紹介するブースが設けられています。日本からは、第2520地区(宮城、岩手)の東日本大震災関係のブース、第2710地区(広島、山口)の広島平和レポートのブース、第2750地区(東京)の東京の町づくり環境保全と環境に優しい開発のために、のブース、そして今年から初めて参加を認められたロータリー米山記念奨学会のブースが出店しており、いずれも大変人気のあるブースで、写真を撮って激励の言葉を記載したり、広島のブースでは、ガバナー夫妻自らが陣頭に立って大きな鯉のぼりの鱗一つ一つに田中作次年度の全世界4カ所で行う内の一つ、広島平和フォーラムへの参加希望者にサインを求めています。

大会記念品の販売も各国の店が並び、大変な混みようでした。

国際大会は、自分が全世界ロータリアンの一員であることを実感させ、又多くのクラブが素晴らしい活動をしていることを知り、人種、国、文化の違う人々と親交を深める良い機会となります。地区の皆さんも、これからは是非参加してみてください。



▲ 友愛の家にて



▲ 2710地区ブース 両ガバナー夫人



▲ タイ学友生を励ます

タイ米山学友会設立総会に出席

ガバナー 細谷 伸夫

5月6日午後5時から、場所をロイヤルオーキッドシェラトンホテルに変えて、バンコクでの米山ナイトとして米山記念奨学会のタイ米山学友会設立総会と祝賀会が催されました。国外では4番目の学友会で、我が地区大会R I 会長代理のラタクル元R I 会長の肝いりで立ち上がったそうです。7名の役員を紹介の後、板橋米山記念奨学会理事長の挨拶とビチャイ・ラタクル元R I 会長の講演があり、設立を祝いました。日本からは130名程のロータリアンが参加しました。2800地区からは、藤川PG、野々村PG、佐藤豊彦PGと私が妻と共に参加し、学友会の皆々様を激励して参りました。

2011年～2012年度 研究グループ交換(GSE)小委員会活動報告

活動方針

- ① オランダ第1560地区GSEチームを万全の態勢で受け入れ、充実した職業研修や文化研修ができるようにする。
- ② 広報活動を意識的に行いロータリー活動のピーアールに努める。

活動報告

2011年10月29日、第1回GSE小委員会を細谷ガバナー臨席のもとホテルキャッスルで開き、具体的な活動内容について話し合いました。始めに細谷ガバナーから「オランダの来訪チームに日本の素晴らしい桜を見せてあげたいので、今年度の地区大会は春に変更しました。受入れはいろいろ大変な苦労があるだろうけど頑張ってもらいたい」と激励の言葉をいただきました。

委員会の前にオランダ第1560地区からGSEチームの情報が届いていました。

来日オランダ第1560地区GSEチーム

チームリーダー

Dirk Hoekendijk (デリック・フッケンデイク、元オランダ軍大佐 58歳男性)

チームメンバー

Consuela Hendriks (コンシュエラ・ヘンドリックス、臨床心理士、32歳女性)

Thea Mekelenkamp (セア・メケレンキャンプ、フラワーデザイナー、28歳女性)

Willem Andree (ウィレン・アンドレ、月刊3誌の編集長、35歳男性)

Remko ten Barge (レムコ・テン・バーヂ、男性ドイツ銀行員、29歳男性)

受入れは、地区内6ブロックが、それぞれチームの希望に沿って研修日程表を作成しました。またホームステイ先の確保、研修先との交渉、研修中チームの移動や食事などの手配はGSE委員を中心に担当クラブが行いました。第一ブロックがGSE委員不在であったので、急遽チームリーダーの経験がある酒田中央RCの加藤実さんをお願いし、快く引受けていただいたのは幸甚でした。

以下に研修期間中の日程表とホームステイ先を掲載いたします。

1560地区GSEチーム 受入日程表

H24.3.26～4.22

3月26日(月)	7:50 成田着 9:00 成田出発 12:00 昼食 15:30 東京第一ホテル米沢着 18:00 歓迎会	迎え:五十嵐 嶺岸 チャーターバス 341キロ 5時間 ホテル予約済み プロジェクター予約済み	3月30日(金)	17:00 ホストファミリーへ 11:00 山形グランドホテル オリエンテーション・昼食 14:00 山形市役所 県庁 16:00 蔵王温泉へ移動	はぎ園 第6ブロックより移動 場所未定 市長訪問 オランダからお土産あり 知事訪問 オランダからお土産あり 宿泊先
3月27日(火)	スロースタート 12:30 上杉RC出席 14:00 米沢市役所 15:00 九里学園 16:00 上杉記念館 17:00 ホストファミリーへ	荷物を各HF宅へ届ける チェックアウトタイム確認 市長訪問 職業研修 文化研修 伝国の杜集合	3月31日(土)	9:00 蔵王山頂見学 11:00 蔵王温泉から移動 11:30 山形グランドホテル到着 12:00 昼食 午後フリー 17:30 R I 会長を囲む晩餐会	山形グランドホテル 山形グランドホテル内中華料理
3月28日(水)	10:00 南陽市役所 10:30 佐藤病院 12:30 南陽RC出席 14:00 NDソフト 15:30 考古資料館まほろば 17:00 ホストファミリーへ	市長訪問 職業研修 プレゼン 職業研修 文化研修	4月1日(日)	9:00 ホテル出発 12:15 登壇プレゼンテーション 昼食(何処に行きましょう) 18:00 懇親の夕べ 20:00 ホストファミリーへ	県民会館まで徒歩10分 荷物は懇親会場へ移動 GSE委員会が案内 パレスグランデール
3月29日(木)	9:30 白鷹リハビリセンター 10:00 白鷹町役場 10:30 テルス株式会社 12:30 白鷹RC出席 14:00 長井ダム見学 16:00 やませ蔵	集合 町長訪問 職業研修 プレゼン 職業研修 "	4月2日(月)	9:00 山形生花市場見学 11:00 舞子の稽古見学と体験 12:00 千蔵館の見学と昼食 13:15 山形大学 15:30 山形銀行 18:00 ホストファミリーへ	職業研修 文化研修 職業研修 " 集合場所

4月3日(火)	9:00 青少年のための施設へ 12:00 昼食 13:00 丸十大屋見学 14:30 山形新聞・山形放送 18:00 ホストファミリーへ	数か所見学と研修 醤油製造 びよたまへの出演	ウィズ環境 出羽ノ雪酒造館 漬物処 本長 ホストファミリーへ	職業研修 " " 東京第一ホテル鶴岡	
4月4日(水)	9:30 さくらんぼ会館 10:00 べにばな資料館 12:00 西川月山RC例会出席 14:00 東北電力 水ヶ瀬発電所 15:30 ケアハイツ西川 17:30 ホストファミリーへ	第5ブロックより到着 プレゼン 職業研修 " さくらんぼ会館	4月15日(日)	9:00 集合 羽黒山見学 12:00 昼食 14:00 旧朝日村見学 17:00 ホストファミリーへ	東京第一ホテル鶴岡 玉泉寺 東京第一ホテル鶴岡
4月5日(木)	8:40 さくらんぼ会館 9:20 寒河江市役所 10:30 寒河江学園 12:00 寒河江RC例会出席 14:00 日東ベスト 15:30 県立農業試験場 17:30 ホストファミリーへ	集合 市長訪問 職業研修 プレゼン 職業研修 " さくらんぼ会館	4月16日(月)	8:30 集合 9:00 大山小学校 11:30 榊ベルナル酒田 12:00 昼食 14:00 本間美術館 本間家本邸 16:00 ホストファミリーへ	東京第一ホテル鶴岡 職業研修 第1ブロックへ引継 榊ベルナル酒田 文化研修 " 榊ベルナル酒田
4月6日(金)	9:00 さくらんぼ会館 9:20 若月印刷所 10:15 舟唄温泉・テルメ伯陵 12:00 昼食 13:30 県重要文化財 慈恩寺 15:00 さくらんぼ狩り&買物 17:30 ブロック送別会 19:30 山形グランドホテルへ	集合 職業研修 " 場所 文化研修	4月17日(火)	9:00 酒田市役所 山居倉庫 日和山公園 12:00 昼食 酒田共同火力発電所 出羽遊心館 16:30 ホストファミリーへ	市長訪問 文化研修 相馬楼、舞子見学 職業研修 榊ベルナル酒田
4月7日(土)	終日フリー	山形グランドホテル	4月18日(水)	個別職業研修日 カンシュエラ 午前:医師会員診療所視察 午後:山王プラザ、酒田港視察 セア 午前:生花による飾付け実演体験 午後:池田バラ農園見学、玉簾の滝見学 ウィレン 午前:酒田市近郊を散策 午後:庄内小僧編集長訪問 土門拳記念館訪問 レンコ 午前:庄内バイオセンター視察 午後:松山眺海の森周辺散策 ダーク 午前:酒田市近郊を散策 午後:鳥海山、ブルーライン	
4月8日(日)	終日フリー	山形グランドホテル	4月19日(木)	9:00 集合(ホテルリッチ) 日本海岸観光 12:15 酒田東RC例会出席 13:30 山形へ移動 15:00 山形グランドホテル着 18:00 送別会	荷物はホテルに預ける プレゼン 山形グランドホテル泊 各自大型バック成田へ送る
4月9日(月)	9:50 ホテルフロントロビー集合 10:00 山寺 12:00 昼食 14:00 天童市役所 15:00 陸上自衛隊神町駐屯地 17:30 ホストファミリーへ	第3ブロック担当者迎え 風雅の国 市長訪問 職業研修 集合場所	4月20日(金)	9:30 ホテル発 10:14 山形駅発 11:32 郡山駅着 12:56 東京駅着 13:20 ホテルグレースリー銀座着	
4月10日(火)	10:00 東根市役所 10:30 さくらんぼタクトルセンター 12:00 昼食 13:00 クリーンピア共立 15:00 山形スリーエム工場 16:00 加温さくらんぼ 17:00 ホストファミリーへ	市長訪問 職業研修 文四郎麩 職業研修 " 集合場所	4月21日(土)	8:00 ホテル発 9:00 ダイナミック東京ツアー 17:30 ホテル着 18:33 東京駅 19:34 成田空港着 20:00 ホテル着	はとバス英語ガイド ¥12,000/1人 荷物受取 成田エクスプレス
4月11日(水)	10:00 クアハウス基点集合 村山市役所 11:00 最上徳内記念館 12:00 昼食 13:30 県立村山農業高校 15:00 県立特別支援学校 17:00 クアハウス基点	荷物を預ける 市長訪問 文化研修 禅雲寺 職業研修 " 歓迎会 クアハウス基点泊	4月22日(日)	10:00 ホテル発 10:40 成田空港着 12:40 LH715便 離陸ドイツへ	
4月12日(木)	9:00 戸沢村 9:40 最上川船下り 10:50 自然エネルギー風力発電地 12:45 余目RC例会出席 14:00 (株)マルハチ訪問 15:00 (株)アマルメ工芸社 17:00 ホストファミリーと対面 18:00 鶴岡南RC花見例会 20:30 ホストファミリーへ	第3ブロックより引継 職業研修 プレゼン 職業研修 レンコ、梅津さん宅へ 東京第一ホテル鶴岡 第2ブロック歓迎会 東京第一ホテル鶴岡			
4月13日(金)	9:30 集合 10:00 鶴岡市消防本部 11:00 致道博物館 12:30 昼食 13:30 鶴岡市役所 14:20 荘内日報社 15:00 鶴岡市アートフォーラム 16:00 ルネサス山形セミコンダクタ 17:30 ホストファミリーへ	東京第一ホテル鶴岡 スカーゼ 市長訪問 職業研修 " " 東京第一ホテル鶴岡			
4月14日(土)	9:30 集合 10:00 加茂水族館 12:00 昼食 13:00 善宝寺 高館山	東京第一ホテル鶴岡 寝覚め屋半兵衛			

オランダ1560地区GSEチーム ホストファミリーの方々

大変お世話になりました

	Mr. Dirk	Mr. Willem	Mr. Remko	Mrs. Consuela	Mrs. Thea
3月27日～29日 第6ブロック	高橋 順一 米沢おしょうしなRC 長男夫婦の長女(16歳)	網代 欽二 南陽RC	菊地 泰男 南陽東RC	玉木 龍晃 米沢RC	小泉 雅行 米沢上杉RC
4月1日～3日 第5ブロック	長谷川浩二 山形西RC	高橋 勝幸 山形RC 両親と次男10歳	天口 信裕 山形イブニングRC	五十嵐 信 山形西RC	五十嵐 信 山形西RC
4月4日～5日 第4ブロック	若月 孝 大江RC	大泉 富博 寒河江さくらんぼRC	奥山 吉一 寒河江RC	鈴木 明朗 河北RC	郷野 正利 西川月山RC
4月9日～10日 第3ブロック	遠藤千鶴子 天童RC	斎藤 賢一 東根RC	高嶋 浩之 東根RC	野川 晶弘 天童東RC	森谷 政子 村山ローズRC
4月12日～15日 第2ブロック	斎藤 秀紀 鶴岡南RC	菅原 昭治 鶴岡東RC	梅津 武雄 余目RC	迎田 健 鶴岡RC	早坂 剛 鶴岡西RC
4月16日～18日 第1ブロック	川田 秀彦 酒田東RC	白戸 勝芳 酒田スワンRC 青山 武 酒田スワンRC	加藤 徳也 酒田湊RC	大井 康之 酒田RC 長濱 禮子 酒田RC 浅井 多一 酒田RC	高橋 竹夫 酒田中央RC

細谷伸夫ガバナーへのお礼状

細谷伸夫ガバナー様

2012年国際ロータリー第1560地区GSEチームを代表し、細谷ガバナー、政子令夫人始め、2800地区GSE委員会の皆様にご心から御礼申し上げます。皆様が、我達GSEチームのために準備下さいました山形県での研修プログラムは大変素晴らしいものでした。皆様のおもてなしは素晴らしく心温まるものでした。

帰国して一カ月がたちましたが、思い出は今でも忘れることができません。楽しい例会にたくさん出席し、県内各地を見学いたしました。そして親切で温かいロータリアンとそのご家族のもとで、日本の家庭生活を体験できました。印象に残ることが数多くありました。それは本当に貴重な体験でした。さらに40以上の職業研修はチームメンバーにとって非常に価値のあるものでした。異文化から多くの事を学び彼らも成長することが出来ました。

6月1日～2日、1560地区の地区大会があり、そこで二つのプレゼンテーションを行います。一つは大会前日の「ガバナーズディナー」の席で、皆様に送別会の時見て頂いたものをやります。二つ目は大会当日、興味を持って下さる全てのロータリアンとパートナーに2800地区の事を誇りを持って紹介したいと思っています。

今一度感謝申し上げます。アーネムで、山形で、あるいは国際大会で、またお会いできることを楽しみにしております。これからも共通の思いを大事にしていきたいと考えています。

平成24年5月22日 アーネムにて

2012年国際ロータリー第1560地区 GSEチームリーダー
デリック・フッケンデイク



吉村美栄子知事へのお礼状

2012年3月2日



拝啓

ヘルダーラントからますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

ヘルダーラント州はオランダの東のドイツとの国境のところにあり、ロース川が真ん中に流れています。GSE（研究グループ交換）のチーム・リーダーと4名の参加者はヘルダーラント州から参りました。

この州は5,400平方キロメートルの面積を有し、人口は約200万人です。2つの大学があり、そして、ヴァン・ゴッホ・コレクションで世界的に有名なクレラー・ミュラー美術館をはじめ、たくさんの興味深いところがあります。また、ヘルダーラント州は「オランダの果樹園」とも言われ、山形と同様にさくらんぼの生産で有名です。

2011年3月11日に、美しい日本の東北地域に起こった大震災によって大変な影響を受けられた山形県民と県の業務に対して幸運を祈ります。特に、この困難な時期に被害者と避難者のご健康とご多幸を祈ります。

オランダに訪問される機会がありましたら、ヘルダーラントの州都であるアーネムでお会いできればと思っております。そして、適した季節であれば、ヘルダーラントのさくらんぼを召し上がっていただきたいと思っております。

ヘルダーラント州知事
C. G. A. コルニーリエ
敬具

C.G.A.コルニーリエ ヘルダーラント州知事へのご返礼



ヘルダーラント州知事

C. G. A. コルニーリエ 様

新緑の候 ますます御清栄のこととお慶び申し上げます。

このたびは、国際ロータリー第1560地区研究グループ交換（GSE）チームの本県へのご訪問に際し、ごあいさつのお手紙をいただき、誠にありがとうございます。

また、昨年3月に発生しました東日本大震災に対するお見舞いと励ましのお言葉に深く感謝申し上げます。

山形県は、山あり川あり海ありの多彩な地形を有し、四季折々に表情を変える豊かな自然に恵まれた所です。また、県内の市町村すべてに温泉が湧き出す全国唯一の県で、様々なタイプの温泉を楽しむことができます。

さらに、ご存知のとおり、さくらんぼをはじめ四季を通しておいしい果物が実る「果樹王国」であり、山の幸や海の幸も恵まれ、まさに「食の宝庫」と言える地域です。

貴州におかれましても、本県同様、さくらんぼの生産が盛んな地域であるとお聞きし、お互いの地域で生産されたさくらんぼを始めとする果物を味わう機会が持てればと思っております。

GSEチームの皆様には、4週間にわたり本県の産業や文化などを学んでいただき、そして県民との交流を深めていただきました。今回をきっかけに、貴州と本県の様々な交流の輪が広がっていくことを願っております。今後とも、どうぞよろしくお祈り申し上げます。

季節柄、どうぞご自愛くださいますようお願い申し上げます。

2012年4月25日

日本国山形県知事

吉村美栄子

送別会

4月19日、山形グランドホテルで、オランダGSEチームの送別会が開かれ、ガバナー始め、地区内クラブ会長・幹事、ホストファミリーの皆さん、GSE委員会委員の方々、そしてオランダを訪問した2800地区GSEチームメンバーの皆さん、ブラジル派遣チームの堀子君、細谷君が出席してくれました。

最初にこの日はご夫人共々和服を召した細谷ガバナーから「チームにとって山形県での研修が有意義であり、ここで得たものを帰国後に様々な形で生かして頂きたい」というお話があり、続いてデリックチームリーダーから「ガバナー始め2800地区の皆さん、ホストファミリーの皆さんには素晴らしいプログラムと暖かいおもてなしを受け感謝している。大変多くの事を学ぶことが出来た」というお礼の挨拶がありました。

その後、チームの「日本で学んだこと」というプレゼンテーションがありました。県内多くの市町村長を訪問したこと、吉村県知事を表敬

訪問したこと、県内ロータリークラブでプレゼンテーションしたこと、40を超える職業研修や各地の観光スポットでの様子、YBCピヨタマに生出演したことなど楽しそうな写真やビデオで紹介されていました。彼らの真剣な様子や楽しそうな笑顔がこの研修が彼らにとって充実したものであったことを証明していました。

最後にガバナーからチーム一人一人にプレゼントが贈られ、名残惜しい送別会を閉じました。

※翌日、ガバナー夫妻が山形駅にチームを見送りに来て下さいました。チーム全員感激していました。また、ブラジルチームの細谷君が山形グランドホテルから山形駅まで車でチームを送ってくれました。ありがとうございました。



「4月24日開催 親睦ゴルフコンペ」

去る4月24日(火)蔵王カントリークラブにおいてのゴルフコンペに多数のロータリアンの参加をいただき誠に有難うございました。このゴルフコンペを通し「クラブの垣根を越え、仲間を増やし、友情を育み、ロータリー活動に意欲をもち積極的に関わる」という目標までに至ったでしょうか。「年1回ばかりでは」と思うかもしれませんが、「クラブの垣根を越え、仲間を増やし、友情を育み」までは到達したのではないのでしょうか。今年度の目標「連帯感」も生まれたのではないのでしょうか。手続き要覧・親睦活動要覧による親睦委員会活動とはすこし違いますが、目指すところは同じではないのでしょうか。

さて、私はゴルフを一度もやったことがありません。よってチンプンカンプンでした。にもかかわらず本年度このような企画をさせていただきました。すると、細谷ガバナーには当委員会に適切な委員のメンバーを推薦していただき、金子クラブ管理運営委員長にも強力なリーダーシップをもって、かつ適切にこの企画を進めていただきました。そして当委員会のメンバーや地区の役員方々の協力でゴルフコンペが開催できたと思います。「思いやりの心」に支えられたとひしひしと感じております。

最後になりますが、私、数年後にゴルフを是非始めたいと思いをめぐらしております。そのときは皆様「思いやりの心」でもって私をご指導下さいませようお願いいたします。これもちまして、本年度の親睦・家族小委員会 小委員長の報告と致します。

89名参加いただき、上位5名の結果

RANK	NAME	OUT	IN	GROSS	HD	NET
優勝	渡会 徹 (余目RC)	37	42	79	7.2	71.8
準優勝	戸田 英夫 (高畠RC)	40	44	84	12.0	72.0
第3位	大滝 正博 (余目RC)	42	41	83	10.8	72.2
第4位	庄司 時雄 (山形西RC)	38	48	86	13.2	72.8
第5位	今間 勝見 (鶴岡西RC)	43	43	86	13.2	72.8



細谷ガバナーのナイスショット



優勝者：余目ロータリークラブ 渡会さん

『第17回 国際ロータリー 日本青少年交換研究会札幌会議』報告

去る4月28日(土)、29日(日)の両日、第17回・国際ロータリー日本青少年交換研究会が札幌で開催されました。

今回は、「留学の必要性」をテーマに、ROTEXを中心に、新世代全体(ローターアクト・インターアクト・青少年交換)で青少年交換の意義と目的を討議、研究する会議でした。この会議には、各地区からガバナー・GE・GN・PDGをはじめ地区新世代の各委員長・委員、そして多くのロータリアンが参加していました。当地区からは、小松RIJYEC研修委員(寒河江RC)・佐藤新世代委員長・ROTEXの荒木春佳さんと私の4名が参加し、多くのことを学んでまいりました。

会議の冒頭、主催者の斎藤直美RIJYEC理事長から、3.11の震災の影響を受け、危機的状況に陥った日本青少年交換プログラムは、海外をはじめとする多くの関係者の努力で甦ったと述べられ、これからも次世代を担う若者たちの育成に努力していくことを確認いたしました。

引き続き、ROTEX(札幌西RC)の増永茂子さんから、『留学の必要性・若者よ、海外に羽ばたけ』と題し、基調講演をいただきました。(1966年 アメリカに派遣)

その中で、海外の人々と交流し、異文化を体験することにより、国際的視野が広がり、自己に対する理解も深まり、人間として大きく成長する。また、相手の国を理解する事により、平和への関心が深まる。日本社会の中では真の国際人は育たない。今のままでは日本は国際競争に勝ち残れないなど、留学体験を通しての貴重なご意見を拝聴することができました。

その後の、新世代フォーラム“新世代の語り”の中では、ROTEX・インターアクト・ローターアクトのみなさんから、それぞれの活動や、留学体験を通して学んだこと等をお聞きし、ロータリーの子育てプログラムが大きな成果をあげている事が窺えました。

17時からは、第2510地区の奥貫新世代委員より、『新世代の絆』についてのご講演、ROTEX研修会と夜遅くまで会

議が続き、一日目の研修を終了致しました。

二日目は、朝8時からRIJYEC研修会、青少年交換プログラムにおける危機管理について、事例を挙げてその対処方法など勉強いたしました。

研修の締め括りとして、昨夜遅くまでグループ討論会を行ったROTEXより、それぞれの立場から、“留学から学んだこと”、“留学の必要性”、に付いて意見発表がありました。

要約しますと、「今の学生は受験や就職ばかりに関心があり、外を見渡す余裕が無い」「自分や家族を見つめ直すことができ、親や家族の有難さ、大切さを知った」「母国について考える機会ができ、日本の素晴らしさや、外国との違いを知った」「自立心・気配り・発言力・度胸がついた」「友達がいる国と戦争なんて考えられない、平和の大切さを知った」など、国際的視野が広がり、人間として大きく成長することができたと、異口同音に話しておられました。

この研究会を通して、新世代プログラム(青少年交換)の意義・目的を再認識し、国際理解と国際親善の必要性を実感する素晴らしい研究会でした。

* RIJYEC
(国際ロータリー日本青少年交換委員会)
* ROTEX (帰国学生)



地区協議会開催の御礼

実行委員長 渋谷 晏弘

4月14日に開催されました地区協議会に、地区内ロータリアン多数の方にご参加を賜り、成功裡に終了できましたこと、心より感謝致します。

2012～2013年度、R I テーマ「奉仕を通じて平和を」と第2800地区目標の「ロータリーの理念を思い起こそう 奉仕の心を広げる為に ～忘れない がんばる東北の為に～」を理解され、新しい年度に向け参加された、クラブ次期会長・幹事・理事・主要委員長等、クラブ指導者のもとで、連帯と理解を広め、絆を高め、それぞれ円滑なクラブ運営に努められ、各クラブの更なる発展を御祈念申し上げまして、御礼の挨拶とさせていただきます。



地区協議会 部会報告

会長・幹事部会報告

次期地区幹事 菊地 泰雄



4月14日に行われました地区協議会には、県内のロータリアン約500名の参加を頂き、大成功の内に終了致しましたことを、ご報告いたします。

基調講演は、パストガバナー藤川享胤さんに約30分間お話を頂きました。

その中で藤川さんは、ガバナー補佐、会長、幹事に対して、自分がロータリアンになった時の34年前のお話と今現在の中で、会員数は入会当時110人でしたが、一番会員数が多い時で230人位だったそうです。

現在は4クラブで130人に減少している。どのクラブも同じだと思いますが、この会員減少をロータリーの衰退と考えるのか、それとも強健なクラブを作り直す絶好のチャンスと考えるべきか？次期会長幹事の皆様は、どうお考えになられ次年度の運営をして頂きますようお願いいたしますと話されました。

また、藤川さんは、ガバナーが地区を変えるのではなく、変えることができるとするならば皆様以外に無いと思いますと申されました。

和田ガバナー、ガバナー補佐につきましては要覧に記載されている点をよくご理解をいただきますようお願いいたしますと指摘した上で、会長にはロータリーの目的と理念と四つの項目を自ら実践すると共に、会員に理解していただくよう努めることである、会長挨拶を通じて常にロータリーの本質について語り働きかけることが必要ですと、また、クラブ幹事は各種の記

録の保管、会合の通知、議事録の作成報告を果たすことであり、会長を支え、会長と力を合わせてクラブの発展に努めてくださいと話されました。

クラブ管理運営部会報告

地区副幹事 小笠原幸一



カウンセラーの細谷伸夫ガバナー、委員長・和田實さん、そしてロータリー情報小委員会委員長の海野健治さん、親睦・家族・レディース小委員会委員長の押切さんに参加いただきお話をさせていただきました。

最初にカウンセラーの細谷ガバナーより挨拶を兼ねて例会の持ち方、綱領の理解、クラブの発展etc、参加した各クラブの委員の方とディスカッション方式で話し合いを進めていただきました。

また、委員長の和田さんより、和田ガバナーエレクトの地区目標「ロータリーの理念を思い起こそう 奉仕の心を広げる為に～忘れない東北の為に～」のもとに、ロータリーの綱領の理解・地区はクラブの為にというスローガンのもと、各セミナーの開催、親睦活動、卓話講師の紹介etcについて話していただきました。

ロータリー情報研修プログラム小委員会委員長海野健治さんからは会長の意識の大切さetcを話していただきました。

また、親睦家族レディース小委員会委員長の押切さんからは、女性全員の名簿の作成、意見交換会、親睦活動の月刊誌に依る紹介、ゴルフコンペetcについて話していただきました。

お話をいただいた皆さんには熱心に話をしていただき、時間いっぱいを使用して、大変有意義な分科会だったと思います。

会員増強・公共イメージ向上部会報告

南陽東RC 富田 茂



次期地区副幹事 横山仁氏の司会により、リーダー：パストガバナー佐藤豊彦氏、次期委員長梅津武雄氏、神林小委員長、土屋小委員長を紹介し、開会いたしました。

はじめにカウンセラーである佐藤 豊彦パストガバナーよりご挨拶並びに基調講演をいただきました。「1998～99年度に2560名の会員がおりましたが現在は1650名と30%強の減少になっており年度末では1600名を割り込む可能性が懸念せざるを得ない状況である。これらは会員の皆様の共通認識とし危機感をもってロータリアンがロータリーを正しく伝えられるよう勉強し、職業奉仕を理解し職業倫理の高揚により広報活動を通じロータリーの社会認知度を高めることにより会員増強に繋がるものと期待し、また、2年続けてのカウンセラーであり実績を出し卒業させていただきたい」意向のようでした。

引き続き次期梅津委員長より

1. 現状認識

2. 活動目標と方針

- (1) 会員数30名未満のクラブは純増2名以上
- (2) 会員数30名以上のクラブは純増3名以上
- (3) 地区内に女性クラブ拡大創設目標
(レディース増強小委員会)
- (4) 会員少数クラブへ支援活動(退会防止)
が示されました。

3. 活動計画

会員増強セミナーを6月に2ヶ所で開催等続いてレディース増強小委員会の神林小委員長より活動方針・活動計画が示されました。

続いて広報・雑誌・I C O小委員会の土屋小委員長より活動方針・計画が示されました。

その後質疑応答においてはこれまで1名純増

でも厳しかったのに2名また3名以上目標はどうなのか。どういう勧誘方法があるのか期待して参加した。クラブ活動の不足。同じことの繰り返し。組織化された増強では無く各自にまかされているようだ。会員の少ないクラブが今回出席していない。危機感が薄いのでは。

いずれにしても次期は本気になって取り組むことを確認し終了しました。

社会奉仕部会報告

次期地区副幹事 川井 利幸



会場は南陽市の中央公民館（えくぼプラザ）の会議室にて行われました。当日の出席者は、リーダー塚原初男様、次期社会奉仕委員長小林正行様、少子高齢化対策小委員長（代理）高梨正章様、環境対策小委員長赤間信夫様、東日本大震災復興支援小委員長長谷川春海様、また各地区社会奉仕担当者43名の出席を頂きました。

昼食後午後2時開始の予定でしたが思わぬハプニングがありまして5分ほど遅れての開催となりました。開会のことばに続きリーダー及び委員長、小委員長の紹介に続き委員長の挨拶、その後リーダー塚原初男直前ガバナーの基調講演は「森づくりから環境保全を考える～やまがた絆の森と少子高齢化対策」というテーマで約20分ほどの講演がありました。森林の役割、森林の必要性、森林の働き、森林との関わり又「やまがた絆の森プロジェクト」についてプロジェクト活用と社会奉仕の可能性について a 社会貢献 b 福利厚生 c 環境貢献 d 環境教育 e 企業のPRの5項目について

他に、少子高齢化対策については小国町の事例紹介、東日本大震災復興支援対策については継続の必要性等の内容でした。

続きまして各委員会より活動方針の提案として次の通りです。

社会奉仕委員会の基本活動

1. 各小委員会の活動方針を基本に社会奉仕委員会全体の共通認識を持ち、ロータリークラブ会員に学びの場を提供する。
2. 7月に社会奉仕セミナーの開催
少子高齢化問題
森からの環境問題を考える
3. 「やまがた絆の森プロジェクト」の紹介と締結のサポート
4. 「やまがた特命観光・つや姫親善大使」の各クラブへの委嘱を提案
5. 震災復興支援の継続

少子高齢化対策小委員会の基本活動

1. 少子高齢化対策を含めた「社会奉仕セミナー」を開催
テーマ「少子高齢社会が抱える課題」
ーロータリアンに寄せる期待ー

環境対策小委員会（森林問題等）の基本活動

1. 「環境保全セミナー」を開催
2. 「草刈り、枝打ち、間伐」
3. 「ロータリーの森づくり」

東日本大震災復興支援小委員会の活動方針

1. 被災クラブ、被災ロータリアンに高付加価値（食味コンクール等で受賞米）の「つや姫」山形県産米を贈呈する。
2. 地区大会時に販売コーナーを設け被災クラブの販売及びPRの場を提供する。

上記の活動方針を各委員会より提案があり参加者全員の承認を得まして予定時間内に分科会を終了することが出来ました。

職業奉仕部会報告

地区副幹事 小関 誠一



カウンセラーにPG武田和夫さん。地区職業

委員長鈴木一作さん。そして、サプライズゲストとして午前中の本会議でご講演をいただきました渡辺好政さん、高橋文夫PGにご参加いただきました。

武田和夫PGの基調講演では、「ロータリーの目的は社会に良いことをするために友達を増やそう、お互いにその職業が世のためになっていることを認識しよう、ロータリアンの一人ひとりが家庭でも仕事でも社会のためになるように努めよう。そして全世界の人達がお互いの風俗習慣や宗教を理解し、仲良く平和な地球にする努力をしようと言うことでしょうか。天から与えられた仕事、世の中に役立つことをすることにお互いに敬意を払い悔いを残さない。」とお話をなされました。資料として大連RCのロータリー宣言の文章をいただきました。

つづいて、鈴木一作地区職業委員長の「活動方針」や「具体的活動計画」が発表されました。「活動方針」は和田廣ガバナーの真摯で熱い思いを胸に「ロータリーの綱領の理解、職業奉仕の理解、職業奉仕フォーラムの充実」に向けて、委員全員で努める。「具体的活動計画」では、職業奉仕セミナーのブロック毎の開催。各クラブ例会への出前卓話を積極的に行うとのお話がありました。

いつでも、どこでも言われますが、まずは「ロータリーの綱領」を理解することでしょう。

新世代奉仕部会報告

副幹事 本田 義則



4月14日(土)南陽えくぼプラザ和室にて35名の参加者で地区協議会新世代奉仕部会が開催されました。

カウンセラー大友パストガバナーの基調講演は①現状として支援体制が厳しい、②各RC共同支援の必要性、③ローターアクト、インター

アクト担当者としっかりとした打合せの必要性、④新世代委員の任期の延長、⑤リーダー育成のきっかけ作りにライラの重要性などのお話しを頂き、又特別ゲストとして安孫子パストガバナーにもお話しを頂きました。

協議に入り、羽生新世代奉仕委員長、大竹インターアクト小委員長、菊地ローターアクト小委員長、松浦ライラ小委員長の各活動方針と計画が順次発表されました。

新世代の重要性を考えるテーマ作りや7月21日新世代セミナー開催の報告や、各RCのローターアクト例会への参加やインターアクトへのしっかりとした意向の伝達や各RCでのローターアクト、インターアクトの月1、2回の紹介の要望、そして4月末に東根市を会場でライラの開催計画や地区大会で発表する場の要望などの方針や計画が発表されました。

続いての、質疑応答では「インターアクトにRCが参加する費用は(長井RC)」「他のローターアクトの情報欲しい(鶴岡RC)」「各送金手数料をインター、ローターアクトの補助金としてはどうか(天童西RC)」「予算が切迫しているので他のRCからの協賛を考えて欲しい(鶴岡西RC)」などの意見がありました。

国際奉仕部会報告

副幹事 加藤 浩司



1. 基調講演：カウンセラー関原パストガバナー

国際奉仕の基本方針は「各ロータリアンが国際理解、親善、平和を推進するため奉仕活動であり、他の国の人々との個人交流、つまり個人の人々に役立つクラブの活動やプロジェクトへの協力」である。また「ロータリーの綱領の真の理解を深め実践することが大切」などをお話されました。

2. 国際奉仕委員会：三浦信英委員長

活動方針と計画として、田中作次RI会長の「奉仕を通じて平和を」と、和田GEの「国際奉仕活動の活性化を」の方針を踏まえて、小さなサークルでの国際奉仕についての話し合いの場を持ち、奉仕のあり方を深められるセミナーを8月に開催予定であることが報告されました。

3. 青少年交換小委員会：

齋藤秀紀委員長代理佐藤清一委員

近年派遣受け入れが0から二名と減少しているので、各クラブの積極的な受け入れの願いと、青少年交換の趣旨と概要、その現状と課題について報告がありました。

4. 質疑応答

「今回の交換留学生在が東日本大震災の影響で帰国に至った報告」と「地区からの案として交換留学生の受け入れに際してはブロック内の複数クラブが担当することについて、その取りまとめを地区が積極的に主導してもらいたいとの提案」がありました。

ロータリー財団部会報告

委員長 池田 徳博



★財団の目的、理念などを理解していただき地区目標として年間120ドルと設定され、新地区補助金制度(2013～2014)のため、準備の重要な原資となるもので、財団への想いを実現できるようにお願いします。

★また(未来の夢)計画について6つの重点分野を特定され、地区各RCより提案書(プロジェクトの募集)2012～2013に案を提示しなければならない。

実施は2013～2014から2年間の申請手続きのプロセスになる事から、留意下さい。

★地区補助金の募集、財団奨学生とGSEのプ

プログラム等を休止し、地区として一括でのプロジェクトを検討し、奨学金並びにVTT（職業研修チーム）移行へ準備する。

★ロータリーカードのお願い（各クラブ3枚）

皆様からのご協力を心からお願い申し上げます。

米山奨学部会報告

副幹事 本間 宗一



豊田義一パストガバナーより「米山事業と米山梅吉氏」と題して「米山氏の人格思想は如何

にして作られたか、財団法人米山記念奨学会の使命は日本で学ぶ外国人留学生に対して奨学金を支給支援し、国際間の理解、親善、平和を推進することにある、米山奨学会の寄付は最も身近な国際奉仕への参加である」との詳しく丁寧な基調講演がありました。

引き続き、松村澄夫米山奨学会大委員長より、この奨学会の特徴は、奨学生とロータリアンの親善交流にあり経済支援だけでなく、世話クラブ制度、カウンセラー制度にある心のこもった制度である。

また、2800地区の寄付金、世話クラブ率の現状の説明があり、地区1人当たり年15000円の寄付を達成するようお願いがありました。

次に、竹前秀夫米山学友会小委員長より、山形米山学友会組織の現状、活動内容、計画の報告、また積極的に出前卓話、出前講演を計画していること、ホームカミング制度の説明がありました。



▲ 受付



▲ 昼食



▲ 司会進行



▲ 高橋地区大会副実行委員長

我々の クラブ活動紹介

東日本大震災復興支援報告 「震災で被災した図書館復興のため、 南陽から本を贈ろうプロジェクト」

南陽臨雲ロータリークラブ 会長 歌丸 眞

南陽臨雲ロータリークラブは、大震災被災地の図書館復興のためにと、南陽市にある宮内、赤湯、沖郷の中学校3校の生徒が持ち寄った書籍が計500冊に達し、協力を呼びかけた当クラブへ手渡された。太平洋沿岸の被災地では地震と津波によって図書館や学校の図書室が大きな被害を受け、膨大な数の書籍が流失。岩手県内では100万冊が失われたという。これまで2回に渡る宮城県内での炊き出し、12月には原発での福島からの避難者を招いてのクリスマスパーティーを開くなど奉仕活動に取り組んできた当クラブはこの度、遠野文化研究センターの献本活動に賛同し「被災地の図書館復興のために、南陽から本を贈ろうプロジェクト」を展開。市内3中学校の生徒会はこの要請に応じ、各家庭で眠っている本を提供することを全校生徒に呼びかけた。1月31日には宮内中学生会長の佐藤幸篤君（2年）が「大震災から一年近くたとうとしている今でも被災地は大変な状況にあり心が痛む。私たち3校生徒の思いが詰まった500冊の本が、被災地の皆さ

んの明るい希望となるよう祈っています」とあいさつ。生徒らが書籍を梱包した段ボール箱を当クラブに手渡した。当クラブの歌丸会長は「被災地にとって図書館は憩いの場でもある。皆さんの活動によって図書館の環境整備が一步步前に進むことは復興支援につながる」と感謝した。

預かった本は3月25・26日に岩手県で三陸文化復興プロジェクトを展開する遠野文化研究センター（岩手県遠野市）に、メンバー5名で直接本を届けました。

又、支援金として100,000円を贈呈し、支援金は図書購入のほか、被災地図書館内の本棚や備品、施設の環境整備などに充てられます。

今年度は、地区より震災復興支援金として4つの事業、合計62万円の支援金を頂きこれまでの被災者の支援を行うことが出来ました。細谷ガバナー初め塚原震災復興委員長には大変感謝を致しております。今後とも、長期にわたるであろう復興のために知恵を出し合い、息の長い支援をしていかなければならないと思います。



1月31日 3中学校 本の贈呈式
(宮内中学校)



3月25日贈呈式
(岩手県遠野市文化研究センター)

「まほろばの緑道」清掃で 奉仕に汗を出す

高島ロータリークラブ
奉仕プロジェクト委員長 鈴木 征治

高島町は米、果樹をはじめ酪農が盛んな豊穰の里として栄えてきたが、併せて長谷川・片倉二大製糸工場も立地し町は働く人々で賑わった。地域の経済と文化の発展と共に大正11年、山形交通鉄道線「高島線」が開業した。しかし時代の変化に伴い昭和49年10月惜しまれながら廃線の運命となった。その後、高島町は軌道敷地を譲り受け沿道に桜を植栽し「まほろばの緑道」として多くの人々に親しまれている。

軌道後は毎年春になると桜回廊を訪れる観光客で賑わっている。美しい環境のもとに多くの皆様をお迎え致したく高島ロータリークラブは「まほろばの緑道」の清掃奉仕活動に小・中学生、観光

協会の職員等の協力も得て4月26日の午後、観桜会に先立ち実施した。

また、恒例となった特別養護老人施設の皆さんとの交流会では、輪投げ大会が行われ互いに真剣に点数を競い、競技終了後は和やかな中でおいしいお茶の時間を楽しむことができました。





ハイライトよねやま

1 理事会開催報告 — 2013学年度は700人に —

公益財団法人に移行してから最初の理事会(2011年度第1回)が3月6日(火)、東京プリンスホテル(東京都港区)にて開催されました。

全国から31人の理事と3人の幹事が出席。板橋敏雄理事長の進行のもと、1月3日までの特例民法法人としての事業報告・決算と、1月4日以降の2011年度事業計画・収支予算がそれぞれ原案通りに承認されました。また、2013学年度奨学生採用数については、厳しい寄付金状況を鑑み、800人から700人に削減する原案に対し、「1人でも多く支援したい」「10人でも20人でも可能な限り、上乘せできないか」などの意見も出され議論されましたが、寄付金状況に見合った採用数として、2013学年度は700人とすることが決議されました。



2 被災地の学生として何ができるのか — 奨学生からの便り —

宮城大学で情報デザイン学を学ぶベトナム出身の米山奨学生、グエン・トウン・ヴァンさん(2011-13/仙台西RC)が、「被災地の学生として何ができるのか」との思いで取り組んだという、この1年間の活動を報告してくれました。



夏休みに友達と石巻市でのボランティア活動に参加しました。実際に訪れた現地の状況は、テレビで見るよりももっと大変でした。全国から集まったボランティアの人々と共にがれきの片づけたほか、親を亡くした子供たちと一緒に絵描きをしたり、仮設住宅の方々と料理を作ったりして、心の繋がりを強く感じました。被災者の方から悲しい話を聞いて、あらためて被害の大きさ、怖さを知るとともに、皆さんからは「話を聞いてくれるだけでも心が落ち着いた」と声をかけていただきました。

震災をきっかけに参加したアジア太平洋学生起業家会議では、東北地方の学生として、復興支援ボランティア体験と心のケアの大切さを訴えました。仮設住宅のコミュニケーション不足や断熱性の低い建物構造などの問題をどうすれば解決できるのか、海外からの学生やスタッフ全員で知恵をしぼり、いろいろな提案を考えました。

現在、ゼミの活動として、南三陸町コミュニティ復興支援のため、子供・高齢者の創造性や自立性を高める知育玩具の開発・販売プロジェクトに参画しています。被災者の皆さんの思いもそれぞれで、私たちの考えるものが本当に皆さんを癒し、力になることができるものなのか、試行錯誤で手探りしています。長い復興への道のりに少しでも力になれるよう、今後も人の幸せのデザインを目指してがんばりたいと思います。



仮設住宅で一緒に料理をつくって交流
(左:グエンさん)



復興支援の研究活動 — アジア太平洋
学生起業家会議にて。

3 公益財団法人移行後、初の評議員会開催

公益財団法人に移行してから最初の評議員会(2011年度第1回)が3月29日(木)、メルパルク東京(東京都港区)にて開催されました。全国から28人の評議員が出席し、常務理事および監事9人のほか、公益財団法人移行により任務終了となった特例民法法人最後の評議員8人が列席。互選によって、議長には川野正久評議員(第2590地区PDG)が選出されました。



新しい法人では定時評議員会を年1回開始し、財務諸表について評議員会の承認を得なければなりません。今回、1月3日までの特例民法法人としての決算は原案通りに承認されました。これにより主務官庁であった文部科学省に最後の決算報告を行い、これからは内閣府による必要最低限の監督を受けることとなります。

また、議事終了後の意見交換では、在日留学生の少ないアジア諸国に対する配慮など、今後の募集・選考のあり方について熱い討議が行われました。

クラブ会員数／出席率

ブロック	No.	クラブ名	2011.7.1 会員数	内女性 会員数	2012.4.30 会員数	内女性 会員数	年初からの増減数		4月 出席率	年初からの 平均出席率
							増	減		
第1ブロック	1	酒田	38	3	37	3		1	76.47	84.06
	2	酒田東	32	3	34	3	2		91.70	85.74
	3	遊佐	11	0	12	0	1		94.58	92.67
	4	酒田中央	38	0	38	0			86.00	82.57
	5	酒田スワン	17	6	16	6	1	2	100.00	100.00
	6	酒田湊	17	2	16	2		1	100.00	91.30
第2ブロック	7	鶴岡	37	5	40	5	4	1	75.66	78.07
	8	鶴岡西	33	4	34	4	1		81.98	86.73
	9	余目	26	0	25	2	1	2	88.78	82.75
	10	立川	16	0	17	0	1		90.76	85.69
	11	鶴岡東	36	1	36	1			76.11	73.87
	12	鶴岡南	24	4	24	4			67.50	72.04
第3ブロック	13	天童	42	1	40	1	1	3	94.55	91.77
	14	東根	36	0	38	2	5	2	92.10	82.42
	15	天童東	48	0	50	0	2		78.65	81.94
	16	天童西	20	0	20	0			94.74	92.64
	17	東根中央	37	1	38	1	1		93.20	87.55
	18	村山	14	0	13	0		1	88.46	95.35
	19	新庄	19	2	20	2	1		86.25	84.71
	20	尾花沢	18	0	19	0	1		76.38	76.45
	21	最上	20	1	20	1			90.00	66.37
	22	尾花沢中央	16	0	16	0			93.75	92.07
	23	村山ローズ	21	5	21	5			75.00	73.67
	24	新庄あじさい	20	0	20	0			87.00	86.97
第4ブロック	25	寒河江	49	0	50	0	3	2	98.33	90.78
	26	大江	20	1	19	1		1	93.40	93.83
	27	河北	30	0	30	0	2	2	91.31	87.52
	28	寒河江さくらんぼ	34	2	34	2			84.50	90.19
	29	西川月山	16	1	15	1			88.25	84.84
第5ブロック	30	山形	86	0	92	0	10	4	99.08	98.37
	31	山形北	70	0	73	0	3		99.18	99.21
	32	山辺	28	0	25	0	1	4	98.96	97.11
	33	山形南	53	1	54	2	3	2	98.32	99.05
	34	中山	15	0	16	0	1		68.75	75.28
	35	山形西	99	0	98	0	3	4	91.33	89.45
	36	上山	11	0	11	0	1	1	81.81	86.00
	37	山形東	38	0	38	0	1	1	91.58	93.86
	38	山形中央	36	4	34	4		2	83.33	85.96
	39	山形イブニング	30	0	30	1	1	1	70.69	73.94
	第6ブロック	40	米沢	43	6	45	6	7	5	96.25
41		米沢上杉	45	2	46	2	3	2	95.65	96.96
42		高島	48	3	48	3			71.88	80.61
43		米沢中央	36	4	37	5	1		97.30	97.76
44		米沢おしょうしな	28	1	29	1	1		93.10	94.05
45		川西ダリア	9	0	8	0	1	2	93.75	72.40
46		長井	34	1	33	1	3	4	100.00	92.75
47		南陽	20	4	19	4		1	100.00	94.14
48		白鷹	17	0	17	0			88.24	92.66
49		小国	16	0	16	0			88.75	82.01
50		南陽東	42	0	43	0	1		72.56	79.77
51		長井中央	20	0	20	0			91.70	92.70
52		南陽臨雲	30	1	28	1			59.80	65.41
合 計			1639	69	1652	76	68	51	87.84	86.68

日曜日	地区行事
6/1 金	
2 土	第4回諮問委員会(山形市)
3 日	
4 月	
5 火	
6 水	
7 木	
8 金	
9 土	ライラ小委員会セミナー (庄内町) 酒田湊RC20周年記念式典
10 日	↓
11 月	
12 火	
13 水	
14 木	
15 金	
16 土	次期会員増強・公共イメージ向上セミナー(南陽市)
17 日	
18 月	
19 火	
20 水	
21 木	
22 金	
23 土	次期クラブ事務局担当者研修会(南陽市)
24 日	
25 月	
26 火	
27 水	
28 木	
29 金	
30 土	次期クラブ管理運営セミナー(南陽市)
7/1 日	第1回ガバナー会(東京都)
2 月	
3 火	
4 水	
5 木	
6 金	
7 土	職業奉仕セミナー(鶴岡市)
8 日	
9 月	【山形西】
10 火	【山形南】

GOVERNOR'S Monthly Letter

6 2012.June 月の地区スケジュール

山形探訪 Yamagata Tanbou



■山形西ロータリークラブ創立50周年記念事業

大理石像「L'ATTESA」 (山形テルサ館内)

作者 服部公右衛門
略歴 1947年9月
山形市に生まれる
東京造形大学彫刻科卒業
佐藤忠良に師事
1975年3月
渡伊(イタリアミラノ在住)
イタリア国立ブレラ美術学校
彫刻科 デコレーション科
絵画 卒業
現在国内外で活躍中

山形市内7RC寄贈の
モニュメントを順次紹介させて頂きました。



国際ロータリー第2800地区
2011-2012年度ガバナー

ガバナー事務所

〒990-0041 山形県山形市緑町1-9-30 緑町会館3F
TEL.023-674-9777 FAX.023-674-9778

細谷 伸夫

【今回の表紙】

過ぎし日 春 山寺芭蕉記念館
芭蕉堂・観宝亭へ向かう
(5月初旬撮影)

[写真撮影] 松村スタジオ